

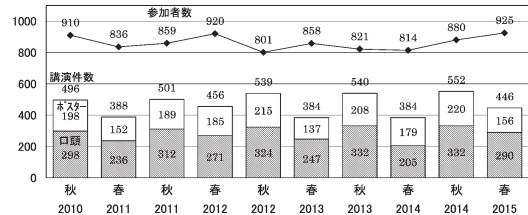
2015年度春季大会の報告

2015年度春季大会は、つくば国際会議場（茨城県つくば市竹園2-20-3）を会場として2015年5月21日（木）～24日（日）に行われた。参加者数（前納登録者と当日受付者の合計）は925名で、1991年以降の統計期間中、最も多くなった（第1図）。

2日目午後には、国際会議場大ホールにおいて総会が開かれ、小司禎教氏に日本気象学会賞が、木本昌秀氏と中澤哲夫氏に藤原賞が、齊藤和雄氏に岸保賞がそれぞれ授与され、総会に続いて受賞者による記念講演が行われた。3日目午後には、同会場において公開シンポジウム「地球温暖化の停滞と加速」が開催され、4件の基調講演と参加者による討論が行われた。3日目にはさらに、気象学に興味を持つ高校生・中学生を対象としたジュニアセッションが開催された。今大会で初の試みであったが、計17件のポスター発表それぞれで熱心な議論が繰り広げられた。

大会期間中は、ポスターまたは口頭発表による一般講演、並びに特定のテーマに基づいてコンピーナーが編成する10件の専門分科会が行われた。一般講演の発表件数は323件（内訳はポスターが156件、口頭発表が167件）、分科会は123件で計446件であった。

会期中およびその前日には、教育と普及委員会によ



第1図 過去5年間の大会参加者数と講演件数（口頭、ポスター）。

る公開気象講演会「気象情報のビッグデータ時代の幕開け」を含め、個別のテーマによる4件の講演会や研究連絡会も開かれた。

今大会の開催に当り、15の企業・団体からご出展・ご協賛を、一般社団法人つくば観光コンベンション協会、およびつくば市からはご協力を頂きました。厚く御礼申し上げます。

また、筑波大学および周辺の研究機関の皆様にご協力頂き、大会実行委員会として大会準備・運営にご尽力頂くとともに、ボランティアとして大会運営にご協力頂きました。ここに深く感謝の意を表します。

2015年6月 講演企画委員会